

平成22年3月期 決算説明会資料

CONTENTS

1. 決算のハイライト【連結】
2. 損益の状況【連結】
3. 財務の状況【連結】
4. キャッシュ・フローの状況【連結】
5. 品目別売上高【連結】
6. 地金価格の推移
7. 事業戦略
8. 平成23年3月期 連結通期業績予想

■本資料における注意事項

この資料には、平成22年5月13日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関するリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先: 管理部 総務課

TEL 03-6212-2811 FAX 03-6212-2826

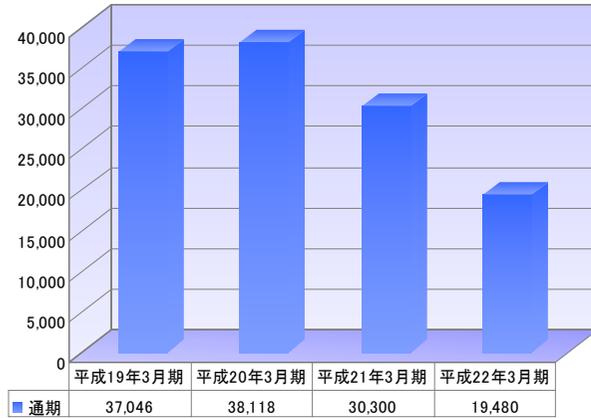
ホームページ <http://www.hakudo.co.jp/>

平成22年3月期 決算のハイライト【連結】

Highlight

売上高

(単位:百万円)



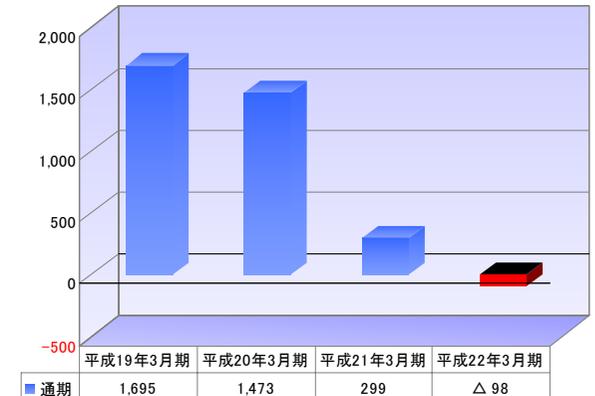
経常利益

(単位:百万円)



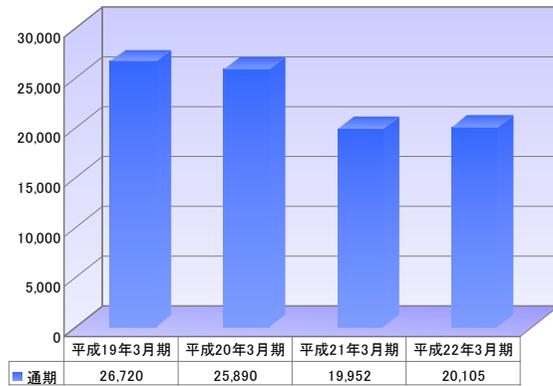
当期純利益

(単位:百万円)



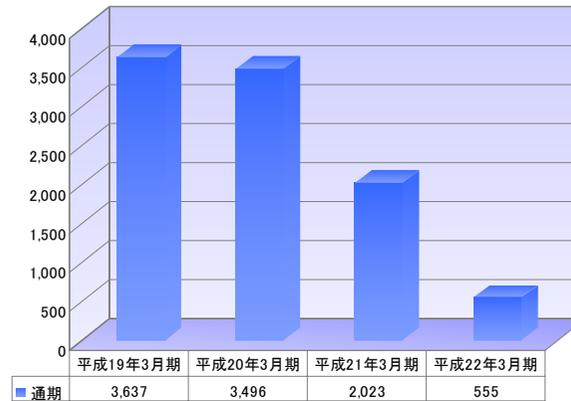
総資産

(単位:百万円)



EBITDA

(単位:百万円)



EBITDA=営業利益+減価償却費

平成22年3月期 損益の状況【連結】

FY 2009, Consolidated

(単位:百万円、%)

	平成21年3月期		平成22年3月期		前年比
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
売上高 Net Sales	30,300	100.0	19,480	100.0	△ 10,820
売上原価 Cost of Sales	25,086	82.8	16,468	84.5	△ 8,618
売上総利益 Gross Profit	5,214	17.2	3,012	15.5	△ 2,201
販管費 Selling, general and administrative	4,230	14.0	3,176	16.3	△ 1,053
人件費 Labor Cost	1,297	4.3	1,252	6.4	△ 45
運賃 Freight	868	2.9	663	3.4	△ 205
業務委託費 Outsourcing	714	2.3	405	2.0	△ 308
その他販管費 Others	1,349	4.4	855	4.3	△ 493
営業利益 Operating Income	983	3.2	△ 163	△ 0.8	△ 1,147
営業外収益 Non-operating Income	102	0.3	148	0.8	46
営業外費用 Non-operating Expenses	277	0.9	63	0.3	△ 214
経常利益 Ordinary Income	808	2.7	△ 78	△ 0.4	△ 887
特別利益 Extraordinary Income	-	-	-	-	
特別損失 Extraordinary Losses	-	-	-	-	
当期純利益 Net Income	299	1.0	△ 98	△ 0.5	△ 398
減価償却費 Depreciation	1,039	-	719	-	△ 320
リース料 Lease	118	0.4	105	0.5	△ 13
設備投資額 Capital Investment	1,384	-	125	-	△ 1,259

※百万円単位で表示しているため、合計数字が合致しない場合があります。
 ※減価償却費はキャッシュフロー計算書の数値を記載しております。
 ※リース料は加工・サービス原価と販管費のリース料の合計を記載しております。
 ※設備投資額は、有形固定資産と無形固定資産の取得による支出を合計して記載しております。

売上高のポイント

- ・景気後退による減産と設備投資抑制による出荷重量が大幅に減少した

売上総利益のポイント

- ・在庫の適正化など売上原価の削減を進めたものの、結果として売上総利益は大幅に減少した

販管費のポイント

- ・モノ・サービスの外部購入の全てを見直し、業務の簡素化・効率化を進めたものの、売上高に占める割合は14.0%から16.3%へ上昇

その他のポイント

- ・為替差益が51百万円発生
(前期は為替差損が203百万円発生)

平成22年3月期 財務の状況【連結】

Balanced Sheet, Consolidated

(単位:百万円、%)

	平成21年3月期		平成22年3月期		前年比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
流動資産 Current Assets	12,732	63.8	13,470	67.0	738	5.8
固定資産 Fixed Assets	7,220	36.2	6,634	33.0	△ 585	△ 8.1
資産合計 Total Assets	19,952	100.0	20,105	100.0	152	0.8
流動負債 Current Liabilities	8,445	42.3	8,812	43.8	366	4.3
固定負債 Fixed Liabilities	110	0.6	134	0.7	24	21.8
負債合計 Total Liabilities	8,556	42.9	8,946	44.5	390	4.6
純資産合計 Total Net Assets	11,396	57.1	11,158	55.5	△ 237	△ 2.1
負債・純資産合計 Total Liabilities and Net Assets	19,952	100.0	20,105	100.0	152	0.8

財務の状況のポイント

◆流動資産

- ・主な増加要因:現金及び預金の増加311百万円と、受取手形及び売掛金の増加979百万円
- ・主な減少要因:在庫の適正化による商品及び製品の減少427百万円

◆固定資産

- ・取得を上回る減価償却費の計上による有形固定資産の減少521百万円

◆流動負債

- ・主な増加要因:支払手形及び買掛金の増加1,346百万円
- ・主な減少要因:余裕資金の状況を勘案して返済した短期借入金の減少1,000百万円

◆純資産合計

- ・利益剰余金の減少240百万円

平成22年3月期 キャッシュ・フローの状況【連結】

Statements of Cash Flows, Consolidated

(単位:百万円)

	平成21年3月期	平成22年3月期	前年比
	実績	実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー Net Cash Provided by Operating Activities	357	1,577	1,220
投資活動によるキャッシュ・フロー Net Cash Used in Investment Activities	△ 1,421	△ 96	1,324
財務活動によるキャッシュ・フロー Net Cash Used in Financing Activities	856	△ 1,142	△ 1,999
現金及び現金同等物の期末残高 Cash and Cash Equivalents at End of Year	3,105	3,416	311

キャッシュ・フローの状況のポイント

- ◆ 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - ・減価償却費719百万円、たな卸資産の減少448百万円、仕入債務の増加1,344百万円
 - ・売上債権の増加976百万円
- ◆ 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - ・有形固定資産の取得による支出103百万円
- ◆ 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - ・短期借入金の返済1,000百万円、配当金の支払142百万円

品目別売上高【連結】

Sales Amount According to the Merchandise

(単位: 百万円、%)

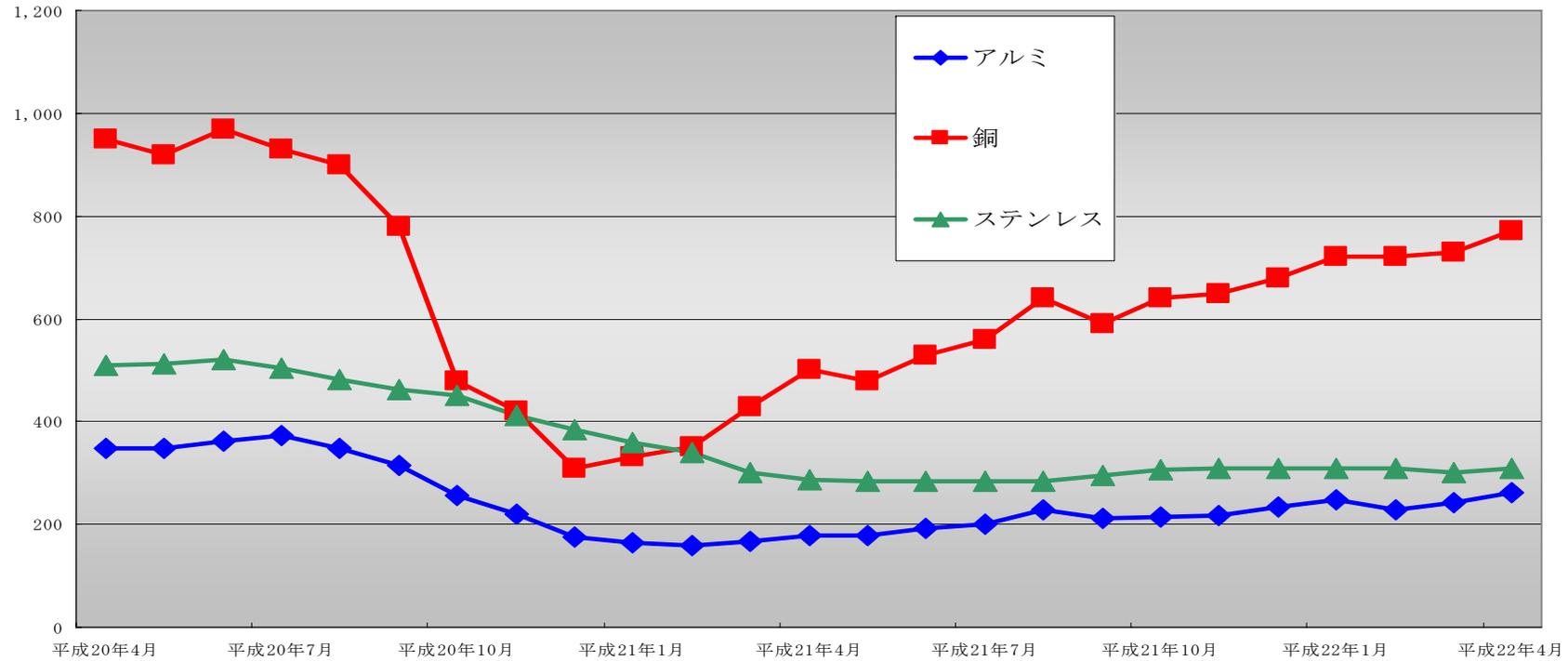
	平成21年3月期		平成22年3月期		前年比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
アルミ	10,175	33.6	6,478	33.3	△ 3,696	△ 36.3
伸銅	3,820	12.6	2,355	12.1	△ 1,465	△ 38.3
ステンレス	4,398	14.5	2,396	12.3	△ 2,002	△ 45.5
特殊鋼	475	1.6	299	1.5	△ 176	△ 37.1
その他	393	1.3	293	1.5	△ 99	△ 25.3
標準品 Stock	19,263	63.6	11,823	60.7	△ 7,439	△ 38.6
アルミ	9,527	31.4	6,591	33.8	△ 2,936	△ 30.8
伸銅	589	1.9	435	2.2	△ 153	△ 26.1
ステンレス	488	1.6	246	1.3	△ 241	△ 49.4
特殊鋼	163	0.5	116	0.6	△ 47	△ 28.9
その他	268	0.9	267	1.4	△ 1	△ 0.6
特注品 Special Order	11,037	36.4	7,657	39.3	△ 3,380	△ 30.6
合計 Total	30,300	100.0	19,480	100.0	△ 10,820	△ 35.7

品目別売上高のポイント

売上高減少のうち、標準品の売上高が大きく減少した結果、標準品の構成比が63.6%から60.7%へ減少し、特注品の構成比が36.4%から39.3%へ増加しました。

地金価格の推移 *Change of the Metal Price*

(単位:千円/トン)



地金価格の状況について(直近1年間)

- ・アルミニウム地金とステンレスは、現在は安定しております。
- ・銅地金は、現在ゆるやかな上昇傾向にあります。

会社に対処すべき課題 「白銅グループ 中期経営計画(2010年度～2012年度)」

◆ 経費の削減による競争力の強化

- ・ 組織の壁をなくすことによる活性化および効率化の推進。
- ・ お客様の求めている過剰サービス、過剰投資の廃止。
- ・ 間接部門の削減と営業、工場の効率アップ。
- ・ 在庫量の適正化と効率アップのための在庫量、品目サイズの削減。

(単位:百万円)

	平成21年3月期 実績	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 予想
加工・サービス原価	3,082	2,312	2,528
販管費	4,230	3,176	3,223
合計	7,312	5,488	5,751

◆ 効果的かつ効率的な営業体制の構築による収益力の改善

- ・ 営業担当者の最適配置、受注体制の合理化。

◆ 将来を見据えた次期主力商品および新規事業の育成

- ・ 特殊鋼SP300切板、SP400切板の拡販。
- ・ ステンレスのフライス、研磨の拡販。
- ・ 切削工具、アルミフレーム等の拡販。

◆ 中国事業の黒字化

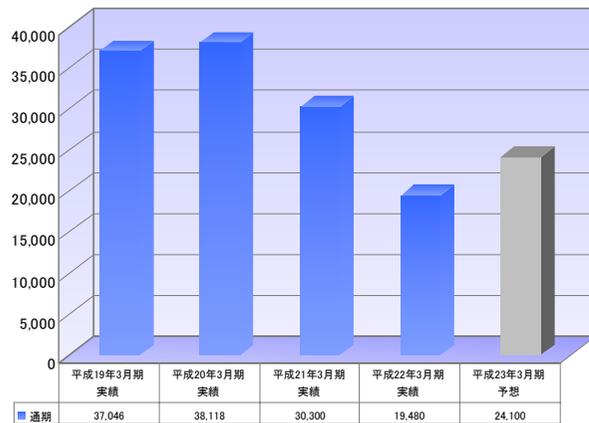
- ・ 経費の削減による競争力の強化。
- ・ 中国人の幹部登用による現地化の推進。
- ・ 中国製商品、加工品等の日本市場への拡販。
- ・ アジアを中心とした新市場と新仕入先の開拓。

◆ 会社法、金融商品取引法における内部統制システムの改善

業績予想について

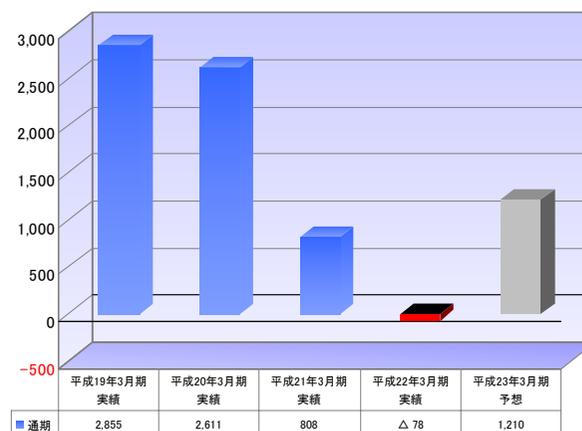
売上高

(単位:百万円)



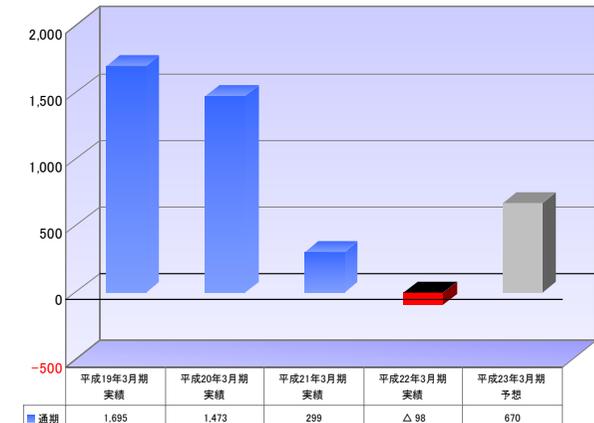
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



配当金

(単位:円)

